

厚木市公共下水道事業企業会計システム
更改業務に係る情報提供依頼書（RFI）

令和 7 年 7 月

厚木市都市インフラ整備部

河川下水道総務課

1 RFIの概要

(1) 業務名

厚木市公共下水道事業企業会計システム更改業務に係る情報提供依頼

(2) 目的

厚木市公共下水道事業は、令和2年4月に地方公営企業法の財務規定を適用し公営企業会計に移行しており、その際、現在運用している企業会計システム（以下、「現行システム」とする。）を導入しました。現行システムについては、使用及び保守契約が令和10年9月末（令和9年度決算）をもって終了となるため、令和9年8月頃（令和10年度予算編成）までに新たな企業会計システム（以下、「新システム」とする。）への更改を計画しています。

この更改を機に、単なるソフトウェア及びハードウェアの更新に留まるのではなく、事務の効率化、業務改善及び経費削減に資する新システムの構築となるよう、調査・検討を行っています。

また、令和9年度中に新庁舎への移転を予定しており、新しい働き方による業務効率の改善や、市民サービス向上に繋がる新システムの導入を目指しています。

企業会計システム更改業務に係る情報提供依頼（以下、「本RFI」とする。）では、これらの調査・検討を進めるに当たり、下水道事業企業会計システムの取り扱い実績のある事業者の皆様から広く情報を収集し、本市に最適な新システムの機能の検討及び必要となる事業費を算出するため、参考情報の提供を依頼するものです。

(3) 実施スケジュール

ア 実施期間

令和7年7月16日（水）から令和7年8月22日（金）まで

イ 参加表明書の提出期限

令和7年7月25日（金）まで

ウ 質問の受付期間

令和7年8月1日（金）まで

エ 質問に対する回答日

令和7年8月8日（金）

オ RFI回答期限

令和7年8月22日（金）まで

2 構築における基本方針

現状の課題を踏まえ、次に示す基本方針に基づき新システムを構築します。

(1) パッケージシステム標準機能の利用を前提としたシステム構築

保守業務範囲内におけるバージョンアップ等の対応が可能となるように、本市独自の要求に合わせたカスタマイズは最小限に留め、必要な機能を有していることを前提に、パッケージの標準機能を利用した事務の効率化を図ります。

また、法改正や将来のデータ移行にも柔軟に対応が可能となるパッケージシステムの導入により、運用経費の削減を図ります。

(2) トータルコストの削減

パッケージシステムの導入、構築、動作検証、操作研修等についての調達をするため、新システムに係る費用対効果については、新システムの構築、運用保守、改修の経費等から総合的に判断します。特に、パッケージシステム標準機能を利用することで、構築から運用までのトータルコストの縮小及び職員負担の軽減が可能であることを重視します。

(3) 業務改善・業務効率化等

ア 本市の業務処理への適合性、分かりやすい操作性、運用性の向上、機能の拡充、電子決裁、ペーパーレス化等、新庁舎での利用を想定したパッケージシステムの採用による業務効率化等を図ります。

イ 新システムは、新庁舎移転及び職員のテレワーク対応等、業務運用の柔軟性を確保するため、オンプレミス型ではなく、LGWANに対応したクラウド型サービスの利用を重視します。

3 情報提供依頼に係る基礎情報

情報提供依頼に係る基礎情報は、次のとおりです。

(1) 対象業務システム

NO	システム機能
1	予算編成
2	予算管理
3	収入管理
4	支出管理
5	資金管理
6	決算整理
7	消費税計算
8	決算統計
9	債権者管理
10	日次、月次処理
11	監査資料作成
12	固定資産管理
13	マスタ管理その他業務に付随するもの
14	電子決裁機能

(2) 稼働環境

ア 既存端末の仕様

形状	14型ノートPC
CPU	Intel(R) Core(TM) i5
メモリ	8GB
SSD	128GB
OS	Windows 10 Enterprise LTSC 2019
ブラウザ	Internet Explorer11 Microsoft Edge、Google Chrome
オフィスソフト	Microsoft Office LTSC 2021 Standard

※既存端末リース期間 令和6年1月1日から令和10年12月31日まで

イ 利用者規模

この規模を踏まえた上で、安定的な稼働が可能なライセンス数、システムリソースを用意してください。

項 目	対象数
利用者	約 50人
端末（LGWAN接続系）	約 50台

(3) ネットワーク概要

本市のネットワークは、本庁舎及び第二庁舎とデータセンターを自営の光回線で接続しており、現行システムのサーバはデータセンターに設置しています。

(4) 現行システムから新システムへの移行データ（予定）

データ種別	データ数
債権債務者	約 40,000件
固定資産	約 20,000件
予算・決算・帳簿類	令和2年度から令和9年度分まで（8年間分）

(5) 更改スケジュール（予定）

スケジュール	内容
令和7年7月・8月	情報提供依頼（RFI）
令和7年9月～12月	デモンストレーション、ヒアリングの実施
令和8年9月	RFPの実施
令和9年1月	構築事業者決定、契約締結
令和9年2月～	システム構築開始
令和9年8月	一部運用開始（令和10年度予算入力）
令和10年4月	運用開始

4 情報提供依頼事項

次の事項に関する情報を「2 構築における基本方針」、「3 情報提供依頼に係る基礎情報」を踏まえた上で、提供してください。

(1) 提案内容（任意様式）

ア 提案パッケージの説明

貴社が提案するパッケージ製品の概要、特長、特性、製造会社、ライセンス、動作環境等に関する情報を提供してください。併せて、サブシステムを提案する場合は、システム間におけるデータの連携についても明記してください。

また、提供可能なシステムについてのパンフレット等があれば、添付してください。

イ システム構成

提案するシステムの構成について、選定基準、特長、性能、機能関連図等に関する情報を提供してください。

本RFIではより多くの情報収集のため、クラウド利用を優先的に検討していますが、クラウド利用が対応不可の場合はオンプレミス型の提案をしてください。なお、クラウドの場合はそのシステム機器が設置されているデータセンターの仕様等、オンプレミス型の場合はサーバ構成案の情報を提供してください。

ウ ソフトウェア構成

提案するシステムを構成するソフトウェア（基本OS、ミドルウェア、ブラウザ、セキュリティソフト、プラグイン等）について、特長、性能、機能関連図等に関する情報を提供してください。

エ データ移行

現在稼働中の現行システムに登録されているデータ移行の可否及び安全性、確実に実施するための手順、手法、支援ツール、移行期間、留意すべき事項等に関する情報を提供してください。

なお、新システムを適切に運用するために必要な全データを移行することを基本とし、現行システムから抽出したデータの変換、新システムへの取込み及び整合性の確認を想定しています。

オ 運用サポート体制

本市からの問合せや障害等が発生した場合のサポート体制、ヘルプデ

スク設置の有無、FAQ等の管理手法、年度末等におけるユーザ管理・更新等の支援、パッチ処理支援の手法、外部拠点からのリモート保守実施の有無等に係る情報を提供してください。

カ 構築スケジュール

「3(5)更改スケジュール(予定)」に基づいて、契約締結から更改完了までの想定スケジュールを示してください。

なお、現行システムとの並行稼働を含めたスケジュールとしてください。

キ 追加提案等

行政事務の効率化、DXの推進、文書決裁、機能要件書に記載のない独自の機能や有用な機能等があれば、併せて提案してください。

(2) 導入実績【様式2】

提案するシステムについて、次の両方の条件を満たす導入実績に関する情報を提供してください。なお、令和7年4月1日時点で稼働している、下水道事業（公共下水道事業、流域下水道事業等、地方公営企業決算状況調査において「下水道事業」に区分されるもの）に係る企業会計システムに限ります。

ア 人口規模 人口10万人以上の自治体

イ 導入時期 過去5年以内

(3) 機能要件書【様式3-1（システム機能）、3-2（帳票）】

本市が示す機能要件に関して、標準パッケージで対応可能か、カスタマイズでの対応、代替機能又は対応不可について回答してください。カスタマイズやオプションとなる場合は、その概算費用についても記載してください。

(4) システム更改に必要な概算費用【様式4】

提案するシステムの導入に係る経費と、運用開始（令和9年8月予定）から5年間のシステム利用及び運用・維持・保守業務に係る経費に関する情報を「【様式4】費用見積書」のとおり提供してください。

ア パッケージ費用、構築金額、保守委託金額、ライセンス、カスタマイズ費、回線費等の内訳が分かるように記載してください。なお、算出が困難である場合は、算出可能な項目に修正又は追加等してください。

イ 年度別の金額が分かるようにしてください。

ウ クラウドの提供が不可の場合には、オンプレミス型の金額を提供してください。

5 RFIの参加方法

(1) 参加の表明

本RFIに参加する場合は、電子メールで「【様式1】参加表明書」を提出してください。

【参加表明書提出期限】令和7年7月25日（金）まで

- ・提出先 厚木市 都市インフラ整備部 河川下水道総務課 宛
メールアドレス 5200@city.atsugi.kanagawa.jp
- ・提出物 【様式1】参加表明書
- ・その他 メールの標題は、次のとおりとしてください。
「【厚木市新企業会計システム】RFI参加表明（貴社名）」
メール送付後は、電話での到着確認をお願いします。
開庁時間外に送付した場合は、翌開庁日に確認をお願いします。

(2) 本RFIに関する質問

本RFIについて質問がある場合には、電子メールで「【様式5】質問書」を提出してください。

【質問書受付期間】令和7年8月1日（金）まで

- ・提出先 厚木市 都市インフラ整備部 河川下水道総務課 宛
メールアドレス 5200@city.atsugi.kanagawa.jp
- ・提出物 【様式5】質問書（Excelファイルで提出してください。）
- ・その他 メールの標題（件名）は、次のとおりとしてください。
「【厚木市新企業会計システム】RFI質問書（貴社名）」
メール送付後は、電話での到着確認をお願いします。
開庁時間外に送付した場合は、翌開庁日に確認をお願いします。

(3) 質問に対する回答

質問に対する回答については、令和7年8月8日（金）17時15分までに、参加表明書を提出した全ての事業者に電子メールで送付します。ただし、質問の内容によって、本RFIの公平性を保てない場合には、回答しないことがあります。また、回答が遅れる場合にはその旨を連絡します。

(4) 情報提供依頼事項の回答

本RFIの回答については、電子メール等で必要書類を提出してください。

【RFI回答提出期限】 令和7年8月22日（金）まで

・提出先 厚木市 都市インフラ整備部 河川下水道総務課 宛
メールアドレス 5200@city.atsugi.kanagawa.jp

- ・提出物 (1) 提案書（任意様式）
(2) 【様式2】 導入実績
(3) 【様式3】 機能要件書
(4) 【様式4】 費用見積書

※(2)～(4)は、Excelファイルで提出してください。

- ・その他 メールの標題（件名）は、次のとおりとしてください。
「【厚木市新企業会計システム】RFI回答（貴社名）」
メール送付後は、電話での到着確認をお願いします。

開庁時間外に送付した場合は、翌開庁日に確認をお願いします。

※メールで提出する場合は、1通当たりのデータ容量を10MB以下とし、
10MBを超えるものは分割して提出してください。

※郵送又は持参で提出する場合は、提出期限日必着とし、紙媒体1部と
CD又はDVD1部（ウイルスチェック実施済であること）を提出し
てください。

(5) デモンストレーション等の実施について

RFI実施後、必要に応じて、デモンストレーション及びヒアリングの実施を予定しています。実施する場合は、別途、日程確認の連絡をします。

(6) 留意事項

ア 提供された資料の内容について、後日、本市から照会又は追加の資料提供を依頼する場合がありますので、御協力をお願いします。

イ 本市における検討内容及び結果は公表せず、個別の問合せにも回答しません。

ウ 本RFIの実施に要する一切の費用は、恐れ入りますが貴社で御負担ください。

エ 本RFIを通じて得た情報は、外部に漏洩しないよう適切に管理してください。

オ 提出された資料については、返却しません。また、「1 RFI概要
(2) 目的」に示した範囲において利用し、情報提供者に断り無く組織外へ開示することはありません。

カ 本 RFI は、本市が今後調達を予定している新システムの準備段階として情報収集を目的に行うものであり、本市が調達を約束したり、情報提供者に特別の地位や優位性を約束したりするものではありません。

6 提供する情報の提出先・本件に関する問合せ先

本件に関する資料の提出及び問合せ先については、次のとおりです。

所在地： 〒243-8511 神奈川県厚木市中町 3 丁目17番17号

担当所属： 厚木市 都市インフラ整備部 河川下水道総務課

担当者： 滝澤・土屋

電話： 046-225-2360（直通）

メールアドレス：5200@city.atsugi.kanagawa.jp

開庁時間：祝日を除く月曜から金曜 8時30分から17時15分まで

以 上